

# 農業振興はどうする

## 営農体系作りに積極的に取り組む

農業は本町の基幹産業といっているが、町長の任期はあと半年だが、農業振興に取り組む決意を聞きたい。

### 生産基盤の構築に

町長

農業従事者の減少や高齢化の進行、農畜産物の価格低迷と厳しい状況下にある。今後新規就農の促進Uターン、Iターンの育成確保に努め、水利用効果で受委託体制や、生産基盤の構築に向け営農体系づくりに積極的に取り組んでいく。

### 自給率向上対策は

上原議員

自給率向上対策は、農産物を増産する事であり農家の収益につながる。そのためには、国の政策

を踏まえて、本町はどのように取り組むのか。

### 水田転作の有効利用

町長

本町の食料自給率は260%あり、高品質なものを増産し地産地消を進めていく。飼料用イネとか、もち米、米粉になるもの等、水田転作の有効利用を図りたい。

### 集落営農の取り組みは

上原議員

今後、高齢化がさらに進み、どこの集落も農業従事者が少なくなっていく。集落営農はどのように進めていくのか。

### 6地区が活動

町長

10地区の方に話し合い活動に参加してもらったが、現在6地区で話し合い活動が続いている。

### 畑の整備計画は

上原議員

本町の畑の整備率は

75・5%である。現在4

地区で進んでいるシラス対策事業は町負担5%で、崎園・高井田地区は来年で終了するが、その後の計画を示せ。

### 112本の農道と43本の排水路を計画

町長

県営畑かん事業で路線112本、排水路43本を計画し一部終了している。26年度までに終わりたい。シラス対策事業も計画的に取り組んでいく。

### 水田整備はどうする

上原議員

水田整備率は県下最下位の26・2%、県平均が77%、水田整備をしないと集落営農も耕作放棄地解消も自給率向上も進まない。今後の予定はあるのか。

### 持留地区を計画

町長

長田、岡別府地区も23年度で整備が終わり、次

は持留地区を計画している。水田整備は地元の盛り上がりが必要で受益者負担も5%に条例改正した。今後も積極的に農家に支援していききたい。



岡別府団地（ほ場整備後）



岡別府団地（ほ場整備前）